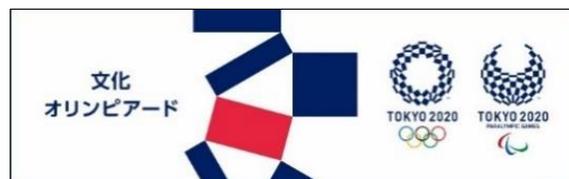


文化でつながる。未来とつながる。

Tokyo Tokyo
FESTIVAL



令和2年11月11日
公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
特定非営利活動法人 Arts Embrace
国立大学法人東京芸術大学

第12回 TURN ミーティング (オンライン開催)

「ろう文化」ってなんだろう
～「手」で会話する?～



見て、感じ取り、
伝え合う表現の世界

TURN ミーティングとは?

“違い”を超えた出会いで表現を生み出すアートプロジェクト「TURN」。「TURN ミーティング」では、「TURN」の可能性について多彩なゲストとともに考え、語り合います。

第12回目となる今回は、コミュニケーションの様々な表現の仕方について思考を深めていきます。今回のキーワードは「ろう文化」。耳から聞こえてくる言葉ではなく、複数の人の表情・手話・間合いなどを通して繰り広げられる対話の神髄と、その魅力に迫ります。

前半では、様々な感覚や知覚があることに向き合います。TURN 監修者の日比野克彦が、視覚と聴覚を用いずに、手の感覚をもとに描いた「^{しよくが}触画」を通して、新しい知覚と表現の世界に出会おうとする試みと、イメージすることによって広がる可能性についてお話しします。

トークの合間には、ラップクリエイターのマチーデフによるパフォーマンスも！ぜひお楽しみください。

開催概要

- タイトル： 第12回 TURN ミーティング
「ろう文化」ってなんだろう ～「手」で会話する？～
- 日時： 令和2年(2020年)11月29日(日) 17:30～19:00
- 開催場所： オンライン開催(TURN公式ウェブサイトより視聴可能) <https://turn-project.com>
- 参加費： 無料 ※事前申込不要 ※手話通訳・文字支援等のアクセシビリティサポート付き
- 主催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、
特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学

出演者



高島 由美子 (たかしまゆみこ)

手話通訳士。1970年、神奈川県生まれ。5歳の頃よりモダンダンスを習い、年上の女性の先生に恋心を抱く。25歳の時、高校時代から付き合っていた同級生の男性と結婚。ショーダンサーとして勤務し、退職、留学、結婚、病気、別居、離婚を経て、現在はフリーランスの手話通訳士として手話通訳や手話講師の仕事をしている。ろう者のパートナーと共に暮らして20年のパンセクシュアル。世田谷区のパートナーシップ宣誓書も受領している。



那須 英彰 (なすひであき)

俳優、手話ニュースキャスター。1967年、山形県生まれ。2歳の時に両全ろうとなる。幼い頃から映画と演劇に興味を持ち、青森の劇団や日本ろう者劇団で計15年間、舞台出演。NHK Eテレ『手話ニュース845』に出演。著書に『手話が愛の扉をひらいた』『出会いの扉にありがとう』がある。講演、一人芝居活動のほか、社会福祉法人全国手話研修センターの日本手話研究所研究員として手話の普及に携わる。



モンキー高野 (もんきーたかの)

手話フレンズ代表。神奈川県生まれ。都立石神井ろう学校卒業。両親、妹ともに耳の聞こえないデフファミリーの家庭に育つ。映画『アイラブユー』やNHK『みんなの手話』に出演。劇団や夫婦漫才など、幅広い活動を行う。2015年に手話の指導や教材制作、情報発信を行う手話フレンズを創設。現在、全国のろう学校などで講演やワークショップを行う。「日本手話の魅力とは?」「ろう者、聴者の手話コミュニケーションのズレ」など自身の経験をもとに、手話の魅力やろう者の日常について伝えている。



マチャーデフ

ラッパー、作詞家、ラップ講師。渋谷区生まれ渋谷区育ち。1997年にラップを始め、オトノ葉 Entertainmentのラッパーとして数多くの作品をリリース。2014年発売のソロアルバム「メガネデビュー。」は、自主制作ながらiTunes ヒップホップアルバムチャートで1位を獲得した。また、アイドルのラップ指導やCMソングの作詞、テレビ番組の監修を務めるなど“ラップクリエイター”としても精力的に活動中。2019年、13曲入りのフルアルバム「メガネシーズン」をリリース。



©Mitsuru Goto

日比野克彦 (ひびのかつひこ)

TURN監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授、岐阜県美術館館長、日本サッカー協会社会貢献委員会委員長。1958年岐阜県生まれ。1982年日本グラフィック展大賞受賞。1986年シドニービエンナーレ参加。1995年ベネチアビエンナーレ参加。2003年より越後妻有アートトリエンナーレ参加。2010年より瀬戸内国際芸術祭参加。2013～15年六本木アートナイト、アーティストックディレクター。平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(芸術振興部門)受賞。

※出演者やプログラム内容等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

当日のスケジュール

17:30	開始
17:30~17:40	はじまりの挨拶
17:40~17:55	第1部 「触画」 をしてみた 出演者：日比野克彦（TURN 監修者、アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授） 聞き手：森 司（TURN プロジェクトディレクター）
17:55~18:10	パフォーマンス パフォーマー：マチーデフ（ラッパー、作詞家、ラップ講師）
18:10~18:55	第2部 「ろう文化」 ってなんだろう？ 出演者：高島由美子（手話通訳士）、那須英彰（俳優、手話ニュースキャスター）、 モンキー高野（手話フレンズ代表）、日比野克彦
18:55~19:00	終わりの挨拶

TURN とは？

TURN は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組「Tokyo Tokyo FESTIVAL」の一環として展開しており、特定非営利活動法人 Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学と実施しています。また東京 2020 公認文化オリンピックカードでもあります。TURN は、障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクトの総称です。アーティストが、福祉施設や社会的支援を必要とする人のコミュニティへ赴き、出会いと共働活動を重ねる「TURN 交流プログラム」と、TURN の活動が日常的に実践される場を地域につくり出す「TURN LAND」を基本に据え、「TURN ミーティング」と「TURN フェス」の開催によって広くその意義を発信します。

公式 URL : <https://turn-project.com>

- ・ 監修：日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
- ・ プロジェクトディレクター：森 司（アーツカウンシル東京 事業推進室 事業調整課長）

●アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組みます。また、オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組を「Tokyo Tokyo FESTIVAL」として展開しています。 <https://www.artscouncil-tokyo.jp>

本リリースに関するお問い合わせ

TURN 運営本部

Tel: 03-3824-9039 (10:00-17:15) ※土日祝日を除く

E-mail: info@turn-project.com

